9月29日





9月28日



9月27日



令和2年

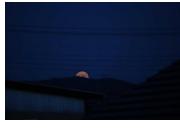




10月1日

中秋の名月(お月見)





か あか あ かあかあかやあかあかや月 やあかあかあかやあかあかや 明恵上人

○あ

芋名月を楽しみました。 初 見られ めて一株起こした里芋十五個を供えて ましたね。 ススキ十五本とその日

9月30日

ます。 ○第四 子、 のかもしれませんね。 ススキと共に供えるの ら子孫繁栄の象徴となっています。名月に の中で生活をしているようです。里芋は親、 に孫芋ができています。 にして子芋ができ、さらにその子芋の周り まず親芋が出来、その周りにくっつくよう となり無くなっています。その種芋の上に、 ○里芋は一株起こすと、 孫と次々と増えてゆくことから、 十八候、 五月に植えた種芋は土の中で栄養分 秋分、 末候、 はそんな理由もある ٧١ まるで大家族が土 っぱい収 水始涸(みず 後でき 昔か は

じめてかれる)。 の準備をする頃。 田んぼの水を抜き、 稲 刈 ŋ

脱穀、 今はコンバインに乾燥機ですので、稲刈り、 が町内では九月一日頃に水を落とし、 りも一ヶ月余り早くなりました。 0 しょうか。 の喜びも浅くなってしまったのではないで 前後に稲刈りが始まり数日で終わります。 月から十一月にかけて稲刈りでしたが、 はありがたいことですね。 私 の子供の頃に較べると、 籾干しというきつい労働と共に収穫 でも、 きつい労働がなくなっ 田植えも稲 以前 十日 は 十 刈



薔薇の実(ローズヒップ)

☆朝夕の冷え込みで、

薔薇の実、

アップルセージの

シュウメイギク、

ツルウメモドキ、

アップルセージ

泥亀のながれ出でたり落し水

とし水は中秋の頃の季語です。川の水瀬石

落

亀が三匹逃げ遅れていました。しばらく我がなくなった後は町内総出で川掃除ですが、

が家に避難させた後、

川に水が戻りました

逃がしてやりました。









アップルセージの紅葉



ミズヒキソウ

ホトトギスも一斉に咲き出しました。



ホトトギス



赤みが増した水引草

☆炉開、

カヤツリグサ

ススキ、

曼珠沙華、

段葯

コスモスの一種生



☆カヤツリグサ(蚊帳吊草)

稽古仲間のHさんが、 カヤツ

れたとのこと。この草は繁殖力が強く、うちの 花にしておられました。 リグサをたくさんもってこられて、素晴らしい自 田んぼの土手で採ってこら 畑に

すが、

冬になると茶室の畳を切って床下に備え付け

ります。

夏は風炉(ふうろ

ふろ)でお茶を点てま

お茶の世界では、季節は大きく夏と冬の区切りが

ます。 ますが、 てくれるのは嬉しいものです。茶花として珍重され よく咲くのは初春でしょうが、この時期に顔を出し を咲かせます。木偏に春と書く椿は、花がもっとも 配種です。 う名がついています。炉開きは茶とヤブツバキの交 月に風炉をしまい、 た茶用の小さないろり、 写真の椿はこの頃に咲くので 秋の立華の根元に使ってもいいものです。 一重咲きで、 炉を開くことを、炉開きと言い 炉でお茶を点てます。 直径4cmほどの淡桃色の花 「炉開き」とい 十 一

立華新風体



IJ っ リ

ス、

シロバナハギ、

ミズヒキソウ、

ホトトギス、

ススキ

こちらも顔を出 しました。





草と名付けられました。 この四角形が蚊帳をを吊ったような形なので蚊帳吊 茎は切れずに広がって四角形をつくります(写真)。 端を持って、 角の構造をしているので頑強です。 はしなることができませんが、鉄橋や鉄塔と同様三 なることによって耐えています。一方、三角形の茎 られました。 も生えて困っている雑草ですが、上手に花にしてお をつくることから「なかよし草」ともいうそうです。 い茎はどの方向にも曲がることができ風が来ても カヤツリグサは茎の断面が三角形をしています。 普通の植物は茎の断面が丸いですが、 それぞれ別の面を引き裂いていくと、 二人で息を合わせて四角形 三角形の茎の両 丸



_	4	_
---	---	---